

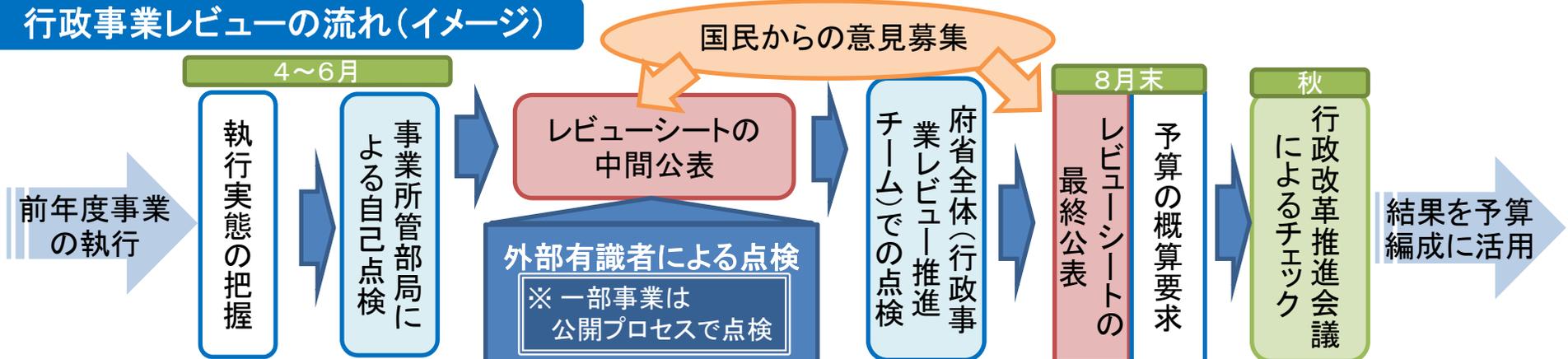
行政事業レビューとは

行政事業レビューとは

- ① 霞が関の各府省自らが、
- ② 全ての事業を対象に
- ③ 執行実態を明らかにした上で、チェックの過程を公開しつつ、
- ④ 外部の視点を活用しながら点検を行い、
- ⑤ 結果を概算要求や執行等に反映させる、
取組です。

- 無駄の撲滅には、まずは各府省自らが、主体的に取り組むことが不可欠。
- 毎年、国の全ての事業(約5,000事業)を網羅的に点検し、徹底的、継続的に無駄がないかチェック
- 全ての事業について、統一した様式の「レビューシート」を作成、公表。
事業の執行状況や、資金の流れを全面公開。
- どのような点検を行ったのか、点検を踏まえてどのような対応を行ったのかを、「レビューシート」上に公開。⇒ 過程を透明化し、緊張感のあるチェックを実施。
- 全事業の「レビューシート」に対する国民からの意見を募集し、点検に活用。
- 毎年、重要度の高い事業(約1,000事業)については、外部の有識者による事業の点検を実施。
- そのうち一部の事業については、公開の場で事業の点検を実施⇒公開プロセス
- 「点検のための点検」ではなく、点検結果を翌年度予算の要求や事業の執行に反映。
- 各府省におけるレビュー終了後、行政改革推進会議(議長:安倍総理大臣)が、各府省の点検が十分なものとなっているかをチェック。チェック結果は、各府省及び財政当局に通知され、予算編成過程で活用。

行政事業レビューの流れ(イメージ)



公開プロセスとは

- 6名の外部有識者が、公開の場で事業の担当者と質疑・議論を行い、事業の点検を実施。
- 本年は、6/10～28にかけて、14府省において、計66事業を対象に実施。インターネット中継又は一般傍聴により議論を全面公開。
- 行政改革担当部局が、一部の外部有識者の指名(6名のうち3名)に関与。
- 議論の結果は、外部有識者がとりまとめ。各府省は、その結果を概算要求に向けての検討において尊重。

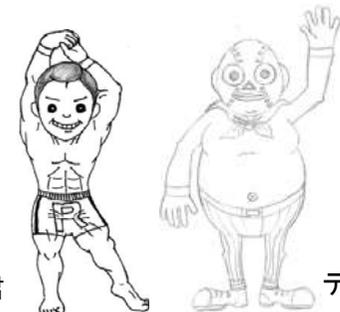
公開プロセスの流れ(イメージ)

5分	事業所管部局から事業の概要を説明
2分	進行役から論点を説明
45分	論点に基づいて質疑/議論を実施 外部有識者は議論の内容を踏まえて「コメントシート」に意見を記入
3分	とりまとめ役の外部有識者がコメントシートに記載された評価結果の集計を発表し、「評価結果」及び「とりまとめコメント」の案を提示。
5分	案に基づき、外部有識者間で議論し、一致した評価結果、コメントを作成。

(写真)平成24年文部科学省公開プロセス



行政事業レビュー公式キャラクター



レビュー君

デビュー君

※更なる詳細な情報については、以下のホームページをご覧ください。

行政事業レビューHP: <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gyoukaku/review.html>